

學 務 課

學 務 係  
教 職 員 係  
指 導 係

# 学 務 係

## 1. 学校教育

### 小・中学校児童生徒学級数

5 3. 5. 1 現在

児童・生徒・学級数		児童・生徒数							学 級 数							教職員数	
									普 通 学 級						特殊学級		
		学校名	学年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年			4年
一 小	(8) 695	143	(1) 111	(2) 113	(1) 127	(3) 108	(1) 93	19	4	3	3	3	3	3	3	1	28
二 小	(6) 906	170	(1) 151	(2) 136	(2) 167	(3) 156	(3) 126	23	4	4	4	4	4	4	3	1	34
三 小	893	148	152	137	160	164	132	23	4	4	4	4	4	4	3		31
四 小	473	82	74	96	80	91	50	14	2	2	3	2	3	2			21
五 小	487	93	84	78	95	63	74	14	3	2	2	3	2	2			22
六 小	788	147	138	138	138	127	100	22	4	4	4	4	4	3	3		30
七 小	477	97	101	85	76	70	48	14	3	3	2	2	2	2			21
小学校計	(14) 4,719	880	(2) 811	(2) 783	(3) 843	(3) 779	(4) 623	129	24	22	22	22	22	21	18	2	187
一 中	(10) 768	(7) 276	264	(3) 228				19	7	6	6					1	35
二 中	760	281	247	232				19	7	6	6						33
三 中	352	125	125	102				9	3	3	3						18
中学校計	(10) 1,880	(7) 682	636	(3) 562				47	17	15	15					1	86

( ) 内数は、特殊学級児童生徒数

# 教 職 員 係

## 1. 職員の状況

### (1) 小学校

学校	教科	校 長	教 頭	全 科	音 楽	図 工	家 庭	体 育	養 護	特 殊 学 級	事 務 職 員	休 職	計
一 小		人 1	人 1	人 20	人 1	人 1	人	人	人 1	人 2	人 1	人	人 28
二 小		1	1	24	1	1	1		1	2	2		34
三 小		1	1	24	1	1	1		1		1		31
四 小		1	1	15	1	1			1		1		21
五 小		1	1	15	1		1		1		1	1	22
六 小		1	1	23	1	1		1	1		1		30
七 小		1	1	15	1	1			1		1		21
計		7	7	136	7	6	3	1	7	4	8	1	187

### (2) 中学校

学校	教科	校 長	教 頭	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 体		技 術	家 庭	英 語	養 護	特 殊 学 級	事 務 職 員	計	指 導 主 事
										男	女								
一 中		人 1	人 1	人 4	人 4	人 3	人 4	人 2	人 2	人 2	人 1	人 2	人 1	人 4	人 1	人 2	人 1	人 35	人 1
二 中		1	1	4	3	4	4	2	2	2	1	2	1	4	1		1	33	
三 中		1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1		1	18	
計		3	3	10	9	8	9	5	5	5	3	5	3	10	3	2	3	86	1

## 2. 人 事

昭和53年度中に異動した教職員

### (1) 小学校

事 由	職 名	人 員	備 考
転 出	教 頭	1人	
	教 諭	8	
	事 務 職 員	1	
退 職	校 長	1	
	教 諭	4	
	養 護 教 諭	1	
転 入	教 諭	11	
採 用	教 諭	5	
	事 務 職 員	2	
	産 休 補 助 教 員	5	
	育 休 補 助 教 員	2	
	講 師	12	53年度の採用延人員
休 職	教 諭	1	

### (2) 中学校

事 由	職 名	人 員	備 考
転 出	教 頭	2人	
	教 諭	5	
退 職	校 長	1	
	教 諭	4	
転 入	教 頭	2	
	教 諭	4	
採 用	教 諭	4	
	産 休 補 助 教 員	2	
	講 師	12	53年度の採用延人員

### 3. 給 与

市立小中学校教職員給与等のうち、給料、諸手当については、本市から提出された給与関係通知書等に基づき、東京都公立学校電算により支給されるが、講師報酬、教職員旅費については、東京都から本市に執行委任された予算で、支給事務を行っている。

昭和53年度中に執行した予算額は、次のとおりである。

執行委任額	27,802,300円
決算額	27,365,743円
対象人員	307人
○一般教職員	274人
○産休・育休補助教員	9人
○講師	24人

# 指 導 係

## 1. 指導関係事業

### (1) 学校訪問

- 指導主事が随時訪問し、学校長はじめ教職員と協議懇談することにより、学校のかかえる問題点を解明し助言した。
- 要請により研究会等に訪問し、研究協議に参加助言した。

### (2) 研究事業

昭和53年度は次の研修会を開催し、福生市教職員の資質の向上を図った。そのうち一部は東京都多摩教育事務所西多摩支所と連携して行ってきた。

ア. 学校経営研修会	4回
イ. 学級経営研修会	5回
ウ. 学習指導法研修会	6回
エ. 教育課題研究会	6回
オ. 教育相談研究会	3回
カ. 安全教育研修会	3回
キ. 道徳教育研究協議会	3回
ク. 心身障害教育研修会	3回
ケ. 新任教諭研修会	20回
コ. 中学校教育課程研究会	5回

### (3) 音楽鑑賞教室

市立小中学校児童生徒の音楽鑑賞教室を、オーケストラ、合唱兩部門それぞれ各1回、市民会館において開催した。

### (4) 演劇鑑賞教室

市民会館において、市立小中学校児童生徒の演劇鑑賞教室を開催した。

小学校	劇団仲間	「ふりむくなペドロ」	4ステージ
中学校	劇団俳小	「夢幻夏之夜譚」	2ステージ

### (5) 教職員に対する教育研究委託

- ア 福生市教育研究奨励校
- (ア) 福生第一小学校

研究主題「ゆとりと充実をめざす学習指導の研究」

(イ) 福生第一中学校

研究主題「ひとりひとりに学習意欲をもたせ、つまづきを克服させるための指導のあり方」

イ 校内研究校

(ア) 福生第二小学校

研究主題「全校たてわり集団活動の望ましいあり方」

ウ その他の研究

(ア) 学校経営調査研究委託

(イ) 学校事務研究委託

(ウ) 教務連絡会研究委託

(エ) 生活指導連絡会研究委託

(オ) 社会科副読本等研究委託

(カ) 研究員の研究委託

(キ) 心身障害教育研究委託

(ク) 体育実技研究委託

(6) 指導関係資料の刊行

ア. 指導要覧

イ. 研究紀要

ウ. 心身障害教育推進のあゆみ

(7) 心身障害教育の推進

ア. 心身障害学級

昭和47年4月、福生一小に開設された本市の心身障害学級も6年目を迎え、さらに昭和51年度は、福生一中に心身障害学級の開設をみたことによって、懸案であった小中の一貫性が図られることになった。

なお、小学校における心身障害学級は、熊川地区への開設要望にこたえて、昭和52年4月から福生第二小学校に、くまがわ学級として開設した。

53年度末の在級人数は、一小ひまわり学級8人、二小くまがわ学級7人、一中心障害学級7人である。

イ. 心身障害教育運営委員会

心身障害教育の振興と充実を図るため、市立小学校の校長、教諭、PTA会長、教育委員等を構成員として、心身障害教育運営委員会を設置している。

ウ. 心身障害教育運営委員会の活動

運営委員会のなかに実行委員会を置き、調査・研究・広報・就学指導等の実際活動を推進してきた。



## 2. 教育相談

### (1) 相談件数

	幼児		小 1		小 2		小 3		小 4		小 5		小 6		中 1		中 2		中 3		高校以上及び有職		計		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
知能・学業に関するケース	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
性格・行動に関するケース			3		1		1	2	1		1		2				3		3					15	2	17
進路・適性に関するケース			1																		1	2	2	2	4	
身体・神経に関するケース	2		2				1																	5	5	
就学相談に関するケース	5	3																						5	3	8
計	7	3	6		1		2	2	1		1		2		1		3		3		1	2	28	7	35	

### (2) 終結までの延べ回数

	1回	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計
人 数	12人	26	9	3	2	2	4	3	1	2	64
延べ回数	12回	52	27	12	10	12	28	24	9	20	206